

# 大分県衛生環境研究センター年報

令和6年度

第 52 号



## はじめに

「あんぱん」を見ましたか。食べ物の方ではありません。そうアンパンマンの作者とその妻をモデルとして戦前から戦後の激動の時代を描いた朝ドラです。今田美桜さんを見れることもあって初めてちゃんと観た朝ドラ。15分があっと言う間で、平日の楽しみの一つになりました。このドラマのモデルの生涯のテーマは『逆転しない正義』。戦前に正しいとされていたものが戦後には全く逆になったことで揺るぎないものを求めたのです。

当センターはドラマの後編と時代を共にする昭和26年の開所です。衣食住の欠乏、失業、インフレに加え衛生状態が悪化していた終戦直後からいくらか沈静化したものの多くの感染症やその後の公害問題と健康にまつわる大きな事件に限られた施設や設備の中で悪戦苦闘しながら対応していた諸先輩方の姿が目に浮かびます。対応できたのは揺るぎない使命として認識していたからです。

令和元年に発生した新型コロナにおいてもその姿勢は継続でき、必要な検査を実施できました。この努力の成果で令和5年4月に改正地域保健法が施行し、①検査、②調査・研究、③研修、④情報提供の4つの機能が明確に位置付けられました。常日頃の業務を充実させ、新たなパンデミックの体制整備を図っているところです。

環境分野では「生物多様性」、「地球温暖化防止」の国際的な枠組みができましたが、もう一つの課題であるプラスチック問題は8月にスイス・ジュネーブで政府間交渉委員会（INC）が開催されました。今会合での合意を断念し、翌年以降の見通しも立たない状況です。今後もアンテナを高くし世界の状況を見守りながら必要な業務の準備をしていくつもりです。

従前の業務に加え、PM2.5の県内発生源由来の推定、PFASやマイクロプラスチックの分析により環境施策の科学的根拠として還元することや気候変動適応センター（研究部）として熱中症対策、温暖化に伴い懸念される動物性・植物性自然毒の分析方法の検討、薬剤耐性問題のひとつとして新たに百日咳のモニタリング、全国的な感染拡大が続くSFTS、生物多様性の観点からは希少種や特定外来生物の分布状況把握のための環境DNA手法の取組など時代から求められているものを取り入れていきます。

また新たな取組として小学5、6年生を対象として夏休みに入った7月に「衛環研フェア」を開催しました。募集を開始したところ瞬く間に定員50名を超える対象者をやむなく抽選により決定した程の人気で当県からのノーベル賞者誕生を楽しみにしています。

大分県の保健衛生と環境分野の科学的・技術的中核機関として、県民のみなさんに成果を分かりやすく発信するなど県民に寄り添いながら、アンパンマンのように頼りにされる衛環研を目指してまいります。

令和8年1月

大分県衛生環境研究センター

所長 大隈 滋



## 目 次

1 沿 革	.....	1
2 組織及び分掌事務	.....	2
3 職 員	.....	3
4 施 設	.....	3
5 経理執行の状況	.....	14
6 主 要 機 器	.....	17
7 業 務 概 要	.....	20
8 研 修 状 況	.....	31
9 調 査 研 究	.....	33
(1) 調査・事例		
1) 症状が類似した疾患の病原体を迅速・同時に検出するリアルタイム P C R 法の検討	.....	33
2) シークエンス等を活用した自然毒関連植物分析法の検討	.....	45
3) 大分県における PM2.5 発生源由来等の推定について	.....	49
4) 大分県における光化学オキシダント濃度分布特性についての調査（第 2 報）	.....	61
5) 大分県における大気常時監視測定期局の再配置について	.....	69
6) 水質試料における水素化物発生原子吸光法を用いた総ヒ素分析の再検討について	.....	75
(2) 資 料		
1) 九州地方における臨床由来溶血性レンサ球菌の血清型の動向（2024年）	.....	81
2) 大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向（2024年）	.....	93
3) 食品の微生物学的検査成績について（2024年度）	.....	97
4) 感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況（2024年）	.....	101
5) 感染症流行予測調査について（2024年度）	.....	103
6) 食品の理化学的検査結果について（2024年度）	.....	105
7) 大分県における湿性沈着中の成分調査（2024年度）	.....	107
8) 大分県における環境放射能調査（2023年度）	.....	117
9) 事業場排水監視に係る基準超過事例について（2024年度）	.....	121
10 学 会 発 表 等	.....	125

# CONTENTS (Research)

<b>(1) Report and Case Study</b>	
1) Real-time PCR for rapid and simultaneous detection of pathogens in clinically similar diseases .....	33
2) Examination of toxic plant analysis methods using sequencing. ....	45
3) Investigation of Sources of PM2.5 in Oita Prefecture .....	49
4) Survey on distribution characteristics of photochemical oxidant concentrations in Oita Prefecture 2nd Report .....	61
5) Regarding the relocation of the Air Pollution Monitoring Station in Oita Prefecture .....	69
6) A revisional study of total arsenic analysis in water samples using hydride generation atomic absorption spectrometry .....	75
<b>(2) Technical Data</b>	
1) Serotype of Group A Hemolytic Streptococci Isolated in Kyusyu Area, 2024 .....	81
2) Trend of Bacterial Diarrhea Surveillance in Oita Prefecture, 2024 .....	93
3) Microbiological Examination of Foods, 2024 .....	97
4) The Epidemiological Surveillance of Viral Infections in Oita Prefecture, 2024 .....	101
5) Surveillance of Vaccine-preventable Diseases, 2024 .....	103
6) Chemical Examination of Distribution Foods in Oita Prefecture, 2024 .....	105
7) Investigation of components in Wet Deposition in Oita .....	107
8) Environmental Radioactivity Level in Oita Prefecture, 2023 .....	117
9) Cases of exceeding standards in effluents monitoring 2024 .....	121